

気候関連開示（公開草案） 産業別開示要求 【レンタカー及びカーリース（TR-CR）産業編】

2022年6月

SSBJ設立準備委員会 事務局

※不許複製・禁無断転載：
公開草案の原文及び日本語仮訳は、IFRS財団の著作物となります。
複製及び使用の権利は厳しく制限されております。

- ❖ 本資料は、2022年3月31日にIFRS財団から公表されたIFRS S2号公開草案「気候関連開示」の付録B「産業別開示要求」のうち、**レンタカー及びカーリース (TR-CR)産業に関連する部分の概要**についてご説明することを目的としています。
- ❖ 本資料では、当該付録B「産業別開示要求」に関し、以下の事項について記載しています。
 - ▶ 産業別開示要求の構成
 - ▶ 指標の**技術的プロトコル**（定義、範囲、適用及び調製に関するガイダンス）において、「shall（～しなければならない）」「shall not（～してはならない）」と記載されている事項を**太字**で記載しています。
 - ▶ 上記以外の事項でも、当該事項に即した開示を行うに際して**特に有用であると当事務局が判断した事項**を記載しています（そのため、すべての事項について記載しているわけではありません）。
 - ▶ 産業別指標を開示するまでの流れ

本資料は、IFRS財団のホームページにおいて公表された当該付録B「産業別開示要求」の日本語仮訳をもとに、SSBJ設立準備委員会事務局が作成したものです。

本資料における意見に係る部分は、あくまでも当委員会のスタッフ個人の見解であり、当委員会の公式見解ではございません。

S2基準案の付録B「産業別開示要求」は、産業ごとに以下が記載されている

産業の説明	<ul style="list-style-type: none">❖ 関連するビジネスモデル、基礎となる経済活動、一般的なサステナビリティ関連の影響 (impacts) 及び依存関係 (dependencies) 、並びに当該産業への参加に特徴的な他の共有される特徴を定義することにより、適用範囲を明確にすることを意図している
開示トピック及びトピックサマリー	<ul style="list-style-type: none">❖ 開示トピックとは、特定の産業内の企業によって行われる活動に基づいて、特定のサステナビリティ関連のリスク又は機会を定義するもの❖ 経営又は経営の失敗が企業の企業価値にどのように影響するかについての簡単な説明 (トピックサマリー) が含まれる
指標	<ul style="list-style-type: none">❖ 開示トピックに付随し、個別に又は1セットの一部として、特定の開示トピックのパフォーマンスに関する有用な情報を表示するように設計されている
技術的プロトコル	<ul style="list-style-type: none">❖ 定義、範囲、適用及び調製に関するガイダンスを提供する
活動指標	<ul style="list-style-type: none">❖ 企業による特定の活動又はオペレーションの規模を定量化するもの❖ データを正規化して比較を容易にするため、指標と組合せて使用することを意図している

**産業名
(68産業)**

衣服、装飾品及び履物

産業の説明

産業に関する記述

「衣服、装飾品及び履物」産業には、男性用、女性用及び子供用の衣類、ハンドバッグ、宝石、時計及び履物を含むさまざまな製品の設計、製造、卸売及び小売に関わる企業が含まれる。製品の大部分が新興市場のベンダーによって製造されることにより、この産業に属する企業が主として設計、卸売、販売促進、サプライ・チェーンの管理及び小売といった活動に焦点を当てることを可能にしている。

サステナビリティ開示トピック及び指標

表 1. サステナビリティ開示トピック及び指標

開示トピック

指標

トピック	指標	カテゴリー	測定単位	コード
	優先原材料の調達に関連する環境及び社会リスクの記述	説明及び分析	該当なし	CG-AA-440a.1
原材料調達	環境又は社会サステナビリティ基準（又はこの両方）の第三者認証を受けた原材料の割合（基準ごとに）	定量	重量ごとのパーセンテージ(%)	CG-AA-440a.2

「衣服、装飾品及び履物」産業は、綿、革、羊毛、ゴム、並びに貴重な鉱物及び金属など、最終製品の主要なインプットとして多数の原材料に依存している。

気候変動、土地利用、資源不足、及び当該産業のサプライ・チェーンが事業を展開する地域での紛争に関連するサステナビリティの影響(impacts)は、産業において原材料を調達する能力をこれまで以上に形成している。

潜在的な原材料不足、供給停止、価格変動及び風評リスクを管理する企業の能力は、透明性に欠けることが多いサプライ・チェーンを通じて地理的に多様な地域から原材料を調達するため、さらに困難になっている。

この問題の効果的な管理を行わないことは、**利益の減少、収益成長率の抑制又は資本コストの増加（又はこれらのすべて）につながる**可能性がある。さまざまな原材料を調達することに関連するリスクの種類に応じて、サプライヤーへの関与、透明性の向上、認証基準の使用又は革新的な代替原材料の使用（又はこれらのすべて）を含め、さまざまな解決策が必要になる可能性がある。

最も積極的な企業は、**ブランドの評判を向上させ、新しい市場機会を開拓する一方で、価格変動や潜在的な供給停止にさらされるリスクを減らす**可能性が高い。

コード： CG-AA- 440a.1	指標： 優先原材料の調達に関連する環境及び社会リスクの記述	測定単位： 該当なし
1 1.1	<p>優先原材料の調達から生じる環境及び社会リスクを管理するための戦略的アプローチを説明する</p> <ul style="list-style-type: none"> 優先原材料：企業の主要製品に不可欠なもの 主要製品：過去3会計年度のいずれかにおいて連結売上高の10%以上を占めたもの 	
2	企業が優先原材料をどのように識別したかに関する方法を含める	
4	優先原材料は、当該原材料を直接購入したか、サプライヤーを通じて購入したかに関わらず開示する	
7	<p>綿花を優先原材料の一つとして識別した場合、以下を説明する</p> <ul style="list-style-type: none"> 水ストレスのある綿花栽培地域に対する脆弱性 これらの地域から綿花を調達することによる価格変動のリスクをどのように管理しているか 	

コード	活動指標	カテゴリー	測定単位
CG-AA-000.A	(1)Tier 1サプライヤーの数	定量	数
	(2)Tier 1の先のサプライヤーの数	定量	数

- Tier 1サプライヤー：報告企業と直接取引するサプライヤー
- Tier 1の先のサプライヤー：報告企業のTier 1サプライヤーにとって重要なサプライヤー

Tier 1の先のサプライヤーのデータが仮定、見積り、又は他の不確実性を含む方法に基づいているかを開示しなければならない

気候関連の産業別指標を開示するまでの流れ(1)

適切な産業の 選択

- ❖ S2基準案の付録B「産業別開示要求」B1巻からB68巻は、SASBスタンダードの「Sustainable Industry Classification System®」(SICS®)のうち、気候関連の指標がある**11セクター・68産業**で編成されている
- ❖ 企業は、単一又は複数の産業を識別しなければならない (S2基準案 B8項)
- ❖ 企業が複数の産業にまたがる可能性が高い、幅広い活動に参加している場合、複数の産業別要求事項を適用する必要がある可能性がある (S2基準案 B9項)

重大なリスク 及び機会の識別

- ❖ 企業は、企業がさらされている**重大な (significant) 気候関連のリスク及び機会**を識別し、記述しなければならない (S2基準案 第9項(a))
- ❖ その際に、企業は、産業別開示要求 (付録B) 中の「**開示トピック**」(特定の産業のリスク又は機会が定義されている)を参照しなければならない (S2基準案 第10項)

指標の特定

- ❖ 企業は、「戦略」に関する要求事項を満たすための開示を作成する際、産業横断的指標カテゴリー及び**開示トピックを伴う産業別指標の適用可能性**を参照し、考慮しなければならない (S2基準案 第11項)
- ❖ 一般目的財務報告の利用者が、重大な (significant) 気候関連のリスク及び機会を企業がどのように測定し、モニタリング及び管理するのかについて理解できるよう、企業は、**付録 B「産業別開示要求」において定められている産業別指標を開示**しなければならない (S2基準案 第19項、第20項(b))
- ❖ 企業は、企業がさらされている**気候関連のリスク及び機会を適正に表示する**という視点を持って、関連するフルセットの産業別要求事項を**すべて参照**しなければならない (S2基準案 B16項)

(次頁に続く)

気候関連の産業別指標を開示するまでの流れ(2)

(前頁からの続き)

指標の特定

- ❖ 定量的情報の開示に係る産業別要求事項が、産業横断的指標カテゴリー（S2基準案 第21項(a)から(e)）に関連する開示の要求事項を満たすか確認し検討しなければならない（S2基準案 付録B B15項）

産業横断的指標カテゴリー
（S2基準案 第21項）

- (a) 温室効果ガス排出
- (b) 移行リスク
- (c) 物理的リスク
- (d) 気候関連の機会
- (e) 資本投下
- (f) 内部炭素価格
- (g) 報酬

産業横断的指標カテゴリーの開示に
用いられる産業別指標の例

- (c)物理的リスク
農産物産業における、水ストレスのある地域から供給される主要作物の割合
- (d)気候関連の機会
化学製品産業における、使用段階の資源効率を考慮して設計された製品から生じた売上高

重要性
(Materiality)

- ❖ 企業は、特定された指標及び目標が企業の企業価値を評価する上で情報の利用者にとって重要性がある（material）と結論付けた場合、特定の要求事項に関連する情報を開示しなければならない（S2基準案 付録B B6項）
- ❖ IFRSサステナビリティ開示基準で要求される特定の開示に重要性がない（not material）場合には、提供する必要はない（S1基準案 第60項）

レンタカー及びカーリース Car Rental & Leasing (TR-CR)

この産業に属する企業は、乗用車を顧客にレンタル又はリースする。レンタカーは典型的に1か月よりも短い期間で行われるのに対し、カーリースは1年以上の期間で行われる。

この産業には、レンタルが時間単位で測定され、典型的にサブスクリプション手数料を含む、カーシェアのビジネスモデルも含まれる。

自動車レンタル企業は、ビジネス及びレジャー目的の旅客を対象とする空港の拠点と、ほとんどが修理工場と週末のレンタルを提供する住宅地の拠点で営業を展開する。

この産業は集中度が高く、複数の支配的なプレーヤーがフランチャイズモデルを用いてグローバルに事業を展開している。

主要な大都市圏において公共交通機関及びライドシェアリング・サービスが成長していることは、顧客が車両を借りるよりも、送迎を依頼したり公共交通機関を利用したりすることを選択する場合には、「レンタカー及びカーリース」産業の長期の収益性に対する脅威となる可能性がある。

開示トピック	コード	会計指標
フリート燃費及び使用	TR-CR-410a.1	<ul style="list-style-type: none"> • レンタル日数で加重平均されたレンタルフリートの燃費 (地域別)
	TR-CR-410a.2	<ul style="list-style-type: none"> • フリートの使用率

レンタカー及びカーリース企業は、低燃費車及び代替燃料車を提供することにより、財務的な利益を獲得しながら、環境面でのサステナビリティを高めることができる。より効率的な車両に対する消費者需要は、環境上のスチュワードシップ及び燃料効率に関連する営業コストの低下の両方に動機付けられて高まっている。

この産業の企業は、低燃費及び低排出のフリートを提供するだけでなく、カーシェアリング・サービスを提供することで、車両ニーズの変化に対応している。

都市部では、カーシェアリングは車の所有に代わる魅力的な代替手段であり、車の個人所有に伴う渋滞や環境上の影響（impacts）を軽減することができる。

カーシェアリングを通じてフリートの利用率を最大化することで、企業は**ビジネスの効率性を高める**ことができる。

コード： TR-CR- 410a.1	指標： レンタル日数で加重平均されたレンタルフリートの燃費（地域別）	測定単位： mpg、L/km、 gCO ₂ /km、km/L
1	報告期間における各車種のレンタル日数で加重した、自社の保有レンタル用乗用車の平均燃費を地理上の地域別に開示する	
1.1	平均燃費は、車両の燃料効率のレンタル日数加重調和平均として計算する	
2	自社のレンタル用乗用車の平均燃費を地理上の地域別に開示する	
2.1	地理上の地域：企業がセグメント別の財務報告を行う地域であり、フリート燃費、燃料消費、又は排出基準の対象となる地域と定義	
4	開示の範囲には、フリート燃費、燃料消費又は排出についての国の乗用車基準の対象となる車両すべてを含む	

コード： TR-CR- 410a.2	指標： フリートの使用率	測定単位： 比率
1	自社のフリートの使用率を開示する	
1.1	使用率は、レンタル日数の合計をレンタル可能日数の合計で除して計算 計算式の例：レンタル日数の合計 ÷ レンタル可能日数の合計	
1.1.1	レンタル日数:車両がレンタルされた 24 時間（又はその一部）の日数と定義	
1.1.2	レンタル可能日数:報告期間中に車両がレンタル可能な状態にある 24 時間（又はその一部）の日数と定義 車両が点検、清掃、整備を受けていた時間及びリコールの対象となっていた時間は、そこから除外する	
1.3	範囲には、空港拠点及び空港外の拠点を含む企業のレンタル拠点の車両及びカーシェアリング用フリートのすべてを含む	

コード	活動指標	カテゴリー	測定単位
TR-CR-000.A	平均車両年齢	定量	月
TR-CR-000.B	総レンタル可能日数	定量	日
TR-CR-000.C	レンタル車両の平均フリート数	定量	数

- レンタル可能日数の合計：報告期間中、車両がレンタル可能な状態にある24時間（又はその一部）単位の日数
- レンタル車両の平均フリート数：報告期間中の各月におけるレンタル可能な最大車両数の単純平均

